



進路だより

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校

第1号

令和6年7月18日発行

小学部編

～「働く人を知ろう：3,4年生」「身近な町を知ろう：5年生」～

小学部3,4年生は、身近で働いている人たちのことを知るために学校周辺のお店へ見学やインタビューをしに行きました。「花工房フローラルトーヨー」では、店内を見学させてもらい、「よく売れる花は何ですか?」「店員さんの好きな花は何ですか?」などの質問をしました。「クレープ・ラ・メール」では、店内でクレープを作る様子を見学させてもらったり、質問をしたりしました。また、見学後は学校で粘土を使ってクレープ作りをしました。見学やインタビューを通して、仕事の内容を具体的に知ったり、真剣に働く人たちのかっこよさを感じたりすることができました。

5年生は、自分たちが暮らしている町のことを知るために五島警察署へ見学に行きました。警察署の方々から仕事の内容について話を聞き、警察官の仕事の大変さを感じました。また、パトカーへの乗車や無線でのやり取り、さすまた体験などをさせてもらい、警察官の仕事について具体的に知ることができました。今回の学習は、自分の将来について考える良い機会となりました。



中学部編

～校内実習・就労体験学習～

中学部2年生は校内実習で、商品を包装する袋へのシール貼り（「五島くんせい工房」さんからいただいた仕事）や福江小学校の清掃などを行いました。1日約5時間、集中して取り組むことができました。初めて取り組む作業もありましたが、どの作業にも積極的に取り組み、三日間の実習でさらに成長することができました。福江小学校の先生方から、たくさんの感謝の言葉をいただき、とてもうれしそうにしていました。

中学部3年生は、就労体験学習で「あすなろ作業所」へ行き、五島うどんの製麺と五島市指定ごみ袋の包装をしました。慣れない作業が多く、途中で失敗したり、落ち込んだりすることもありましたが、職員さんから助言をいただきながら、何とか3日間の体験を終えることができました。将来像をイメージしたり、就労に向けた課題を見付けたりする良い機会となりました。



3年生は6月10日(月)から3週間の現場実習、2年生は6月17日(月)から2週間の現場実習、1年生は2週間の校内実習を行いました。

実習壮行会では、実習に向けて意識を高めるために、生徒たちそれぞれが「相手に伝わる声で挨拶や返事をする」「自分から仕事を見付けて、素早く行動する」といった目標や決意を発表し、実習への意気込みを見せました。

現場実習では、初めはみんな緊張している様子でしたが、任された仕事に一生懸命に取り組み、「この仕事ができた」、「大きな声で話せるようになった」という成果や、「集中力が必要だ」、「体力をつけたい」などの課題を見付けることができました。

校内実習は、企業や福祉事業所からの外注作業や除草作業、畑作業、清掃作業など様々な仕事を行いました。自分たちが作った製品がお客さんに渡ることが分かると、緊張感をもって集中して取り組むことができました。

実習報告会では、「介護施設での実習を通して、自分から利用者さんに話し掛けることができるようになった」「校内実習では、自分から報告ができるようになった」など、自分の成果と課題を伝えるとともに、他学年の生徒からの質問に答えるなど、実り多き学びの場となりました。

3年生 現場実習の様子



農作業



洗い物
(介護補助)



ゴミ袋折り



箱折り



シール剥がし



介護支援

2年生 現場実習の様子



うどん製造



工芸



車の点検補助

1年生 校内実習の様子



ひも切り



農作業



タグ切り



箱折り

みんな真剣に取り組んでいます。



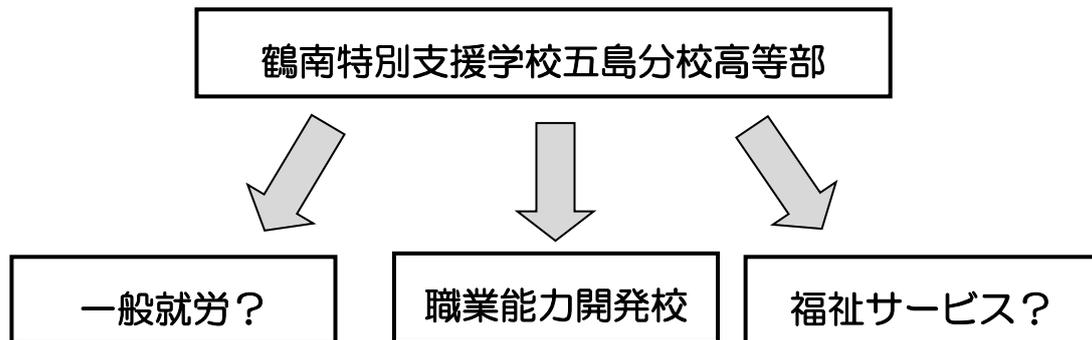
PTA施設見学

6月20日（木）に、PTA事業所見学がありました。今回は、「五島コルディアーレ農園」「はまゆう作業所」「カネヒロ」「グループホーム福江」の4か所を見学させていただきました。それぞれの事業所では、概要や作業内容などについて詳しく説明していただきました。また、そこで働いている卒業生の様子を聞かせてもらうこともでき、とても有意義な研修となりました。



いろいろな進路

高等部卒業後の進路には、いろいろなケースが考えられますが、「一般就労（※パート雇用を含む）」、「職業能力開発校等への進学」、「福祉サービスの利用」の三つが代表的です。作業学習や現場実習などの経験を踏まえて、本人と保護者、担任で話し合い、進路を決定します。



一般就労を目指す場合

障害者総合支援法の施行に従い、一般就労への様々な施策が整備されてきました。一般就労を実現するためには、大きく三つの流れが考えられます。

